

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	熊本大学	個人・グループ名	中原久志	作品名	木のカレンダー
-----	------	----------	------	-----	---------

1. 製作目的

技術とものづくり分野での製作題材として開発した

2. 利用方法

部屋や玄関等に置き利用する

紙のカレンダーのようにゴミが出ず、また壊れない限り永久に使用することができる

立方体の材料には廃材（梅檀、ケヤキ、樺）を加工して利用し、外側の入れ物には合板を使っている

3. 工夫した点

- ・ 4つの立方体で月・日・曜日を表すことができる
- ・ 4つの部品全部を使うので無くしにくい
- ・ 月と曜日は面の半分を使うことで異なる12の内容を表示することができる
- ・ 2つの立方体の12面で、1から31までの日を表すために、一つの面に「6」と「9」を書いている
- ・ 中身を落ちにくくするために日を表す2つの立方体の前に斜めのストッパーをつけている（図3）
- ・ 曜日が書いてある立方体には空きがあるので、自分で好きな文字を書くことができる（図4）
- ・ オイルを塗り、高級感を出した



図1



図2



図3

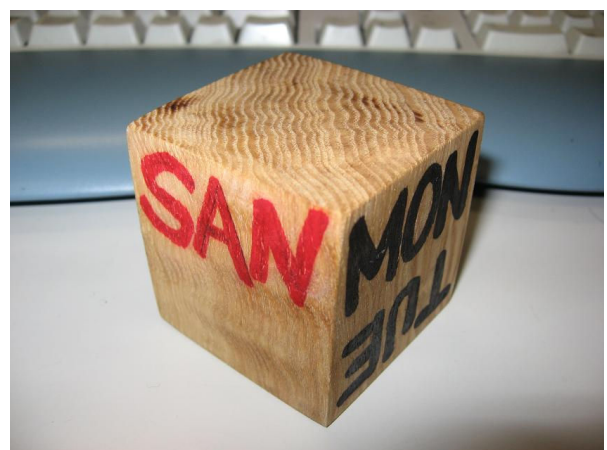


図4